

日高プレゼン コンペティション (2)

生徒の学び

和歌山県立
日高高等学校
SGH ネットワーク 通信
第14号
2022年1月14日



2年6組 芝田 いちな

発表会では、自分の発表に応用できそうな部分を探すという目的を持って臨みました。学んだことは、発表内容を自分の中で分かりやすく捉え、聞き手に伝わりやすく工夫してプレゼンテーションを行うことの大切さです。大江胡桃さんの発表には、相手により伝わりやすくしようという工夫が効果的になされていると感じました。問いかけたり、声に抑揚があったり、他にも現地の人々の声を引用するなどの方法を用いていました。その結果、問題の深刻さが、聞き手に、より重大なこととして伝わってきました。自分が聞いていて、とてもよく理解しやすい発表だったと感じました。

今後、まず私がすべきことは、原稿をもとに一度メモを取るなどして、より簡潔により分かりやすく伝える工夫をすることだと思いました。原稿を読み、頭の中で即席で考えて発表する今までの方法ではなく、要点を整理して端的に分かりやすく伝えることで、聞き手に飽きさせない発表ができると考えました。

1年生グループの発表でも、表の引用や要約が簡潔に示されていて、私たちの今後の発表に生かせそうな工夫がいろいろありました。

次回発表するときには、役割分担などをしっかりとし、自分なりに分かりやすい発表を心掛けたいと思います。そのためには、相手を意識し、アイコンタクトなどをより多く用い、ただただ話すだけのプレゼンテーションにならないように改善を加えていきたいです。どうすればより良くできるかを皆で考えて良いプレゼンテーションを作り上げていきたいと思えた発表会でした。

1年1組 泰地 菜妃

プレゼンテーション後、先生からの質疑応答に上手く答えることができず、それがどうしてかを考えました。明らかに自分の、プレゼンテーションした内容について調べて考える深さが足りなかったことが原因だと気づきました。発表内容について事前にもっと十分に読み込むこと、その内容で少しでも疑問を感じた部分について、もっと興味を持って調べることが必要だったと思いました。そうすることで、質問にも答えることができるようになるのだと思います。

今回、初めてこのような発表会に参加したことで、自分の甘さに気づきました。発表内容について、その理解を深めていくことの大切さを学びました。

1年6組 小林 千華

先輩方の発表を聞いたことで、SDGsをテーマにした探究活動ではどのような事を活動対象としていくべきか、どのような情報を収集する必要があるのかなどを勉強することができました。その中で大江先輩の「発信していくこと、伝えていくことが大切だと考える」という言葉が印象に残っています。「変えられる」ことが一番大きな目標で、解決することを目指して行っている活動ではあっても、今の私たちの力はとても小さなものなので、「伝える」ということ以上の結果を求めても手に入らないかもしれないということや、手に入らなくても、活動することそれだけで十分な力になるかもしれないということ学びました。そして、そのように小さな力でしかなくても、問題を伝えていくという行動が重要だということ、また、その伝えられた情報を知ることが大切だと学びました。